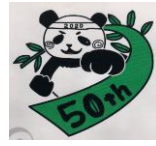




～祝 50周年～

# 笹小だより No. 3



令和 3 年 5 月 31 日  
横浜市立笹野台小学校

## GIGA スクール構想の行方

副校長 山中 卓

保護者の皆様には、日頃より新型コロナウイルス感染症における感染拡大防止にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス対応の特別措置法に基づく緊急事態宣言と「まん延防止等重点措置」が延長され、今後も感染症拡大の影響により、登校が困難となる状況がいつ発生するか予測が不可能な状況です。

本校でも、感染症の拡大等による臨時休校に際して、オンラインツールを活用し、各家庭と学校を結ぶとともに、学習動画の配信や健康観察等が行えるように準備を行っているところです。

さて、今回は「GIGA スクール構想」について、お知らせします。

昨年度、文部科学省の「GIGA スクール構想」において、児童一人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークが整備されることが決定しました。当初は、5年計画でしたが前倒しになり、わずか1年の急ピッチで整備が行われました。新型コロナウイルスの流行による臨時休校への対応が急務となり、緊急経済対策として速やかな整備をするよう方針が示されたためです。

横浜市では、この「GIGAスクール構想」を受け、昨年9月に「横浜市におけるGIGAスクール構想」を策定しました。これからの「Society5.0」時代に、社会のあらゆる場所で ICT の活用が日常となることがうたわれており、教育においても新時代に即した能力の育成等が求められるようになりました。

学校現場では、不登校や様々な特性のある児童、日本語指導が必要な児童、困窮する児童等、児童が抱える背景や取り巻く環境、課題の多様化が進んでいます。こうした状況を踏まえ、横浜教育ビジョン 2030 に掲げる「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指して実践してきた今までの横浜の教育と、最先端の ICT のベストミックスを図り、教育の在り方を日々アップデートし続けていくことが必要と考えられています。

これまで以上に、多様性を尊重しつつ、ICT を活用しながら、児童を誰一人取り残すことのないよう、個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現を目指していきます。

児童一人ひとりが調べ学習をしたり、端末を通じてクラスの仲間と一緒に意見交換を行ったりするなど、一人ひとりの資質・能力の育成に活用していきたいと考えています。児童や各家庭の状況を踏まえ、情報モラル教育を推進するとともに、個人情報保護等の児童の人権にも十分配慮し、取り組んでいきます。

現在は、児童一人1台端末 (iPad) の導入にあたり、急ピッチで準備が進められています。

クラスの仲間との意見交換、臨時休校時の動画やプリント等の教員と児童のやりとりに「株式会社 LoiLo (横浜市中区)」が提供する授業向け支援アプリケーション「ロイロノート・スクール」や「Google」が提供する教育機関向けのクラウド型グループウェア等のクラウドサービスを用います。また、各家庭との連絡手段としてもロイロノートを用いる予定です。

ここからは、笹野台小学校での取組について確認していきます。

昨年12月12日には、「学習動画の試行配信による家庭と学校とのオンラインでの接続確認について(お願い)」のお知らせを配付しました。同時に、学校 ID・ユーザーID・パスワードが記載された「ロイロノート・スクールアカウント」も配付しています。

不測の事態が生じた際を想定したコミュニケーション手段の一つである「ロイロノート・スクール」を活用して、学習動画をオンラインで送付し、各家庭との接続確認を行いました。各家庭からは、動画を視聴した後、「見ました」カードの送信を児童と体験する形で報告をいただきました。

本年の1月6日には、「非常災害や感染症拡大等、様々な理由で登校が困難となった場合のオンラインでの健康観察・学習活動等の実施について」のお知らせをメール配信しました。一部のご家庭には、プリントを配付しています。

非常災害発生やさらなる感染症拡大が生じる等、様々な理由で登校が困難となった場合には、オンラインツールを活用して、各家庭と学校を結びとともに、健康観察や学習保障等を行います。これらの情報発信、学習活動の展開におきまして、端末や情報の取扱いに万全を期すため、オンライン接続時における個人情報等の取り扱いや使用上の確認・遵守事項について、保護者の皆様に承諾をいただくものでした。各家庭からは、電子申請システムを介し、【学校の方針に基づく運用について、同意します。】と回答をいただきました。

2月10日には、「ICT を活用した教育の推進について(通知)」、「ICT を活用した教育活動に関する同意(お願い)」、「本校での個人情報の取り扱いについて」のお知らせを配付しました。新1年生と転入生には、5月10日に配付しています。

同時に、ご家庭向けの「情報モラルリーフレット」及び「スマホ・SNS 利用に関するリーフレット」も配付し、インターネットトラブルに遭わないための話合いや、保護者の皆様へのお願いをお伝えしました。また、メール配信やクラウドサービス等を活用した教育活動についても、個人情報の取り扱いがあることを保護者の皆様にも確認していただき、電子申請システムを介し、【学校の方針に基づく利用を承諾します。】と回答をいただきました。

5月19日には、「家庭と学校とのオンライン健康観察実施に向けた接続確認について(お願い)」のお知らせを配付しました。同時に、ユーザー名・ユーザーID・パスワードが記載された「Google アカウント」も配付しています。

感染症の拡大等による臨時休校の際には、「ロイノート・スクール」を活用し、学習動画の配信や健康観察等が行えるように、各家庭との接続確認を行いました。各家庭からは、児童と体験する形で「出欠カード」の送信を行っていただき、その後、電子申請システムを介し、【接続状況】についての回答をいただきました。

今後は、この接続確認の報告を受けて、状況が改善されるよう端末や Wi-Fi の確保等、さらなる支援の充実につなげていきたいと考えています。

今後は、6月7日(月)から11日(金)までを「GIGA スクール開き準備週間」として、iPad のセットアップや校内通信環境の接続確認を行い、一人1台 iPad 使用の授業開きの準備を行っていきます。動作確認を兼ね、児童と共に使用していきますが、本格的に児童が使用するには、今しばらく時間がかかりそうです。

授業の中で調べ物をしたり、写真や動画で観察や記録をしたりすることを想定しています。具体的な使い方に関しては、どのような学習場面で、どのような使い方をすると効果的か、様々な有効な活用方法を検討しながら導入していきます。

最終的に、臨時休校の際は、各家庭へ持ち帰ることも想定して、操作方法や不具合への対応方法、モラルやルール等も授業で学習していきます。

最後になりますが、目の健康についても、触れておきます。

学校では、児童一人1台端末の環境下で学びをスタートさせます。一方、家庭でも、スマホやゲーム機等の ICT 機器の使用が増加傾向となり、健康面に与える影響が心配されます。

文部科学省は、これらの状況を踏まえ、4月19日に眼科医等の専門家と学校関係者が参加した「児童の目の健康等に関する今後の対応について」の懇談会を開催しました。そこでは、「児童が目の健康について自ら学び、実践するリテラシーを身に付けることが重要であること」や「正しい姿勢で使用する事、ルールを守って活用すること等、学校のみならず、家庭ともしっかり連携することが不可欠であること」と意見が出たようです。

長時間画面を注視することでの目の疲労や視力の低下、姿勢や睡眠とのかかわり等、ICT 機器の使用が健康面に与える影響は、学習面だけを分離することは難しく、生活習慣も含めて捉える必要があると結論付けられました。

学校では、健康観察や検診を通して、学校医と連携し、児童の状況を確認し、発達段階に応じた指導を行うようにしていきますが、各家庭においても、留意していただければと思います。

今後も、保護者の皆様と課題を共有しながら解決し、児童にとって、より良い学びの実現を大切にしていまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。